

令和5年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	健康医療福祉部
日 時	令和5年(2023年)4月26日(水) 13:00~13:45
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、江島副知事、大杉副知事、知事公室長、総合企画部長、総務部長、総務部管理監 健康医療福祉部長、理事(健康・医療政策担当)、次長(兼管理監(ワクチン接種推進担当))、子ども・青少年局長、健康福祉政策課長、医療政策課長、健康危機管理課長、健康寿命推進課長、医療福祉推進課長、障害福祉課長、薬務課長、生活衛生課長、医療保険課長、子ども・青少年局 子ども未来戦略室長、子ども・青少年局 子育て支援室長、子ども・青少年局 家庭支援推進室長

発言者	発言概要
総務部長	健康医療福祉部には、幅広く色々な分野の仕事がある。各部署に関係が広がっていくため、全庁的な連携をして進めてほしい。次長の役割も大きいので、よろしく願います。 コロナが5類となることによる、組織体制の見直しや対応についてもご相談したい。たちまちの体制のことだけでなく、先を見据えた対応と、併せて体制づくりなども必要であり、一緒に考えていきたい。医療福祉拠点については、期間が限られている。互いに連携して、丁寧に対応していきたい。
理事(健康・医療政策担当)	次にコロナのような事態が起こった時にどうするかは、今しか考えられない。5類になったからと言って急に人がいらなくなるわけではない。まずソフトランディングも力がある。そして、今年度改定の感染症予防計画を中身の濃いものにしなさいといけな。
大杉副知事	国の方は子ども家庭庁ができたが、医療や障害と切れる悩みもある。県は、一緒に良さを生かしてもらいたい。 障害者雇用や教育委員会との関係など部局をまたがるテーマもあり、連携を積極的に進めてほしい。 なお、同じことをしていても、社会の動きにともなって狙いが変わってくる。たとえば保育人材の確保は、人数より安全や質に焦点がシフトしている。目標の見直しも随時行ってほしい。
江島副知事	健康医療福祉部で、今年度改定する計画が19本あるのは大変なこと。議会へのご説明等をよろしく願います。 子ども政策は、かなり幅広く各部署にまたがってくる。これはうちじゃない、ではなく、取りに行く姿勢でやってほしい。国との関係についても期待している。 医療福祉拠点は、今後、関係団体との調整が大変になるだろう。総務部と一緒にスケジュール感をもって進めてほしい。 湖北の病院再編は非常に難しい課題だと感じている。
理事(健康・医療政策担当)	今年度中にはどういう経営形にするか決めなければならないし、並行して診療科の再編も検討しなければならない。
知事	北部振興のゼロ番地は医療。医療なくして北部振興はない。知事として重大な決意をもって臨みたい。
総合企画部長	子ども推進本部がしっかり機能するよう、連携していきたい。 組織目標については、CO2ネットゼロも念頭に置きながら事業を進めていただきたい。
知事公室長	コロナの対応については色々悩みながら、県独自の取組も行い、功を奏した面もある。体験した者が教訓を残していくのは正に今であり、一緒にやっていきたい。
知事	コロナ対応については、滋賀県の健福のメンバーと一緒にやって、本当に心丈夫なことだった。ふりかえりつつ、自信にしていきたい。 全庁的にBCPをかけて、土木も琵琶湖も、みんなが保健所に行って、みんなでコロナ対策をした。特に若い職員の勉強になり、一体感が生まれた。ぜひつなげていきたい。
	ここまで話を聞いていると、健康医療福祉部は大事な年。 今年度は健康医療福祉部YEARにする。知事協議は健福部優先にするので、どんどん協議してほしい。
	業務の見直しについてはそれぞれ目標に掲げてもらっているが、業務の電子化と会議の見直しの2つは、健福部の全所属で取り組んでほしい。
	コロナ後の組織体制については、年度途中でやれることと、中長期でやることの2本立てで考えたい。 年度途中の体制変更については、どういうことができるか考えたい。
	コロナのソフトランディングはまだ大変とはいえ、5類移行を機に、健康しがづくりを本格的に進めていく。 その基盤の一つが計画だろう。計画をつくる過程もまた健康しがづくり。市町、子ども若者をまきこんで進めてほしい。

発言者	発言概要
	<p>子ども政策は連携でやっぺいこう。「時間軸」「年代別」「テーマ別」「主体別」の四次元でマップングして、どこが足りないのか・何をしなければならないのか、みんなに分かりやすく示してやっぺいこう。</p> <p>共生社会づくりは「自覚した人が実践責任者」、それを滋賀県庁健康医療福祉部が体現できるようにしていきたい。手話言語と情報コミュニケーション条例は苦勞を掛けるけど、2年後の国スポ障スポも含めて、ユニバーサルデザインも含めて、いろいろな取組が条例づくりによりさらに進むように。</p> <p>体制とか拠点と言う意味でいくつかある。医療福祉拠点整備は今年度が勝負、湖北圏域の地域医療構想・病院再編も今年度に方向性、口腔衛生センターも病院と一緒に今年度に方向性、医療介護福祉のサービス提供体制、特に職員を計画的に確保することも今年度特に重要。拠点・体制・再編については、連携を密にして打ち出しをしていきたい。</p> <p>薬については、滋賀県の創薬力を高めることを考えたい。</p> <p>動物愛護は、動物の命を大事にする滋賀をつくりたい。行政ワードではなく県民目線で打ち出せるようにしよう。</p> <p>水道についても、各部局に言っているが「水は戦略資源」。上下水、地下水もひっくるめた水の管理を、県を挙げてやっぺいきたい。そういう水を豊富に持っている滋賀県の相対的戦略的優位性を打ち出せるのではないかな。</p> <p>ということで、今年度は健康医療福祉部YEARにするので、毎日でも連絡を取り合っぺいきましょう。</p>
健康医療福祉部長	19の計画の改定については、部として一つの柱を立てたい。11の計画の改定があつた6年前も部の柱を立てたが、同じではなく、現在にあつた柱を打ち出していきたい。
江島副知事	健康医療福祉部は、労働集約的な印象がある。DXに取組業務改善を取り入れないと仕事が回らないのでは。
健康福祉政策課長	保健所の業務は、紙でやっぺいしている部分も多い。保健所とチームを作っぺい改善をすすめていきたいと思っぺいしている。
理事(健康・医療政策担当)	コロナ対応については、全国的に見ても、全庁でまとまっぺい取り組めていたのが滋賀県。一丸となっぺい取り組めた。
知事	<p>滋賀県では感染症の時には助け合っぺい対応したぞ、それなら福祉をやるなら滋賀で、子ども施策をするなら滋賀で、と、優秀な人材を集めるアピールに使えないかな。</p> <p>明日からまた話し合っぺいしましょう。ありがとうございます。</p>